

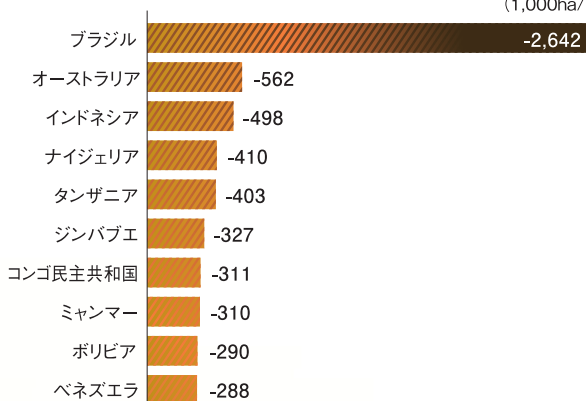


## 世界の森林とその保全

世界では毎年平均1,300万ヘクタールもの森林が失われています(2000～2010年)。近年、世界で最も森林減少が著しいのは、熱帯諸国です。これらの国々では、20世紀に入って急速に森林が失われてきました。

■森林減少面積の大きな国10ヶ国(国別、2000～2010年)

(1,000ha/年)



資料：国連食料農業機関「森林資源評価2010」



## 森林のさまざまな機能(森林生態系サービス)

生物多様性の保全

CO<sub>2</sub>吸収などの地球環境保全

土砂災害防止や土壌保全

水源涵養

木材などの物質生産など

現在大きく取り上げられているCO<sub>2</sub>の吸収や、生物多様性の保全のほか、木材や食べ物の生産、水源の涵養、土砂災害の防止など様々な機能があります。



## 森林保全の方法

森林保全には、植林だけでなく多様な方法とアプローチがあります。

◆ 植林による森林再生

◆ 貴重な天然林の保護等

◆ 持続可能な森林経営のための取組

(合法性や持続可能性の確認できる木材・木材製品の購入等)



## フォレストパートナーシップ・プラットフォーム

フォレストパートナーシップ・プラットフォームでは、企業とNGO/NPOのパートナーシップによる海外での森林保全活動に関する様々な情報を紹介しています。

また、企業100以上、NGO50以上の国内外における森林保全活動の事例を対象地域、活動内容などで検索できるデータベースを設置しています。世界の森林問題に関心を持つ皆様、森林保全活動における企業とNGO/NPOの連携促進のガイドとして、ぜひご活用ください。



<http://www.env.go.jp/nature/shinrin/fpp/>

フォレストパートナーシップ

検索

お問い合わせ先：

環境省自然環境局自然環境計画課  
〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2  
Tel : 03-3581-3351 (代)  
e-mail: SHINRIN-SABAKU@env.go.jp



©タイガの森フォーラム

# 企業 × NGO/NPO で世界の森を守る

フォレストパートナーシップ・プラットフォームのご案内

世界の森林減少・劣化が深刻化するなか、森林保全活動への取組がNGO/NPOだけでなく、企業の間でも広まってきています。

環境省ウェブサイト「フォレストパートナーシップ・プラットフォーム」は、パートナーシップによる森林保全活動に役立つ様々な情報を掲載しています。



Forest  
Partnership  
Platform



## 森林保全と企業

企業活動は、木材の供給、洪水の緩和、CO<sub>2</sub>の吸収などの森林生態系サービスを直接または間接的に必要とする一方で、時には森林にマイナスの影響を与え、この森林生態系サービスの損失をもたらす原因の一つともなっています。森林とともに森林の提供する生態系サービスが失われれば、私たち個人の生活だけでなく企業の活動も影響を受けることになります。

企業が森林保全や生物多様性の保全等に積極的に取り組むことによって得られるチャンスと、取り組まない場合のリスクとして、以下があげられています。

### チャンス

- 生物資源の長期的な確保と調達の安定化
- 商品のブランド価値の向上や企業ブランドの向上、新たな顧客の獲得
- 社会的責任投資等を重視する投資家へのアピール
- 生物多様性の保全技術など新たな技術等の市場の創出
- 従業員満足度の向上、人材の確保

### リスク

- 木材・紙などの生物資源調達の不安定化
- 商品のブランドイメージや企業イメージの悪化
- 環境品質の劣位による製品・サービスの市場競争力の低下

(環境省「生物多様性民間参画ガイドライン」(2009年)より)



## パートナーシップによる森林保全

企業による海外での森林保全活動には、適切な技術や地元コミュニティ等との調整、森林成立までの中長期的な計画の策定などの課題があります。一方、海外で森林保全活動を行っているNGO/NPOは現場経験があり、ノウハウや地元ネットワークを持っているものの、資金的に不安定な状況にあります。企業とNGO/NPOによるパートナーシップは、双方の課題を解決し、効果的で安定した活動を進めるために有効です。

### 事例

#### ● 原材料調達地における森林保全活動

プロジェクト名称：ボルネオ環境保全プロジェクト  
 活動場所：マレーシア・サバ州  
 活動主体名：サラヤ株式会社、ボルネオ保全トラスト

#### ◆ プロジェクトの概要

洗浄剤メーカーのサラヤ株式会社は、原材料にパーム油やパーム核油を利用しています。このパーム油等の原料であるアブラヤシを生産するために、急速な農園開発が行われ、熱帯林が喪失していることが問題となっています。

そこでマレーシアで「ボルネオ保全トラスト(BCT)」の立ち上げに参加し、失われた熱帯雨林だった土地を買い戻し、野生生物が行き来できる「緑の回廊」を回復させる計画などを行っています。ボルネオの恵みを受けて、パーム油を利用できていることから、そこにすむ野生生物に恩返しをしつつ、持続可能なパーム油の利用ができるように、売り上げの一部でBCTの活動を支援しています。

日本での、BCTのカウンターパートであるNPO法人「ボルネオ保全トラスト・ジャパン(BCTジャパン)」は、日本の動物園や学生たちと一緒に、緑の回廊のためのカンパチ募金や環境教育、ワークショップ開催などの、生物多様性保全活動を行っています。



アブラヤシ農園の拡大で、生息地が狭くなり農園に現れたゾウ。作物を荒らす被害もあり、対策が待たれている。  
©サラヤ株式会社



アブラヤシ農園により熱帯林が減少しているキナバタンガン川  
©サラヤ株式会社

#### ● パートナーシップによる森林生態系保全プロジェクト

プロジェクト名称：パートナーシップによる森林生態系保全プロジェクト  
 活動場所：ガーナ共和国、マレーシア、フィリピン共和国、ブラジル連邦共和国、ロシア連邦、中華人民共和国  
 活動主体名：株式会社リコー

#### ◆ パートナーシップの概要

株式会社リコーは、長期的な視点から、同社の事業活動が地球環境に与える負荷を減らすとともに、地球環境の再生能力の維持・回復を進めるための環境保全活動を行っています。同活動の一環として、1999年よりNGOや現地社会とのパートナーシップによる森林生態系保全プロジェクトを開始し、現在、ガーナ共和国、マレーシア、フィリピン共和国、ブラジル連邦共和国、ロシア連邦、中華人民共和国などでプロジェクトを行っています。生物多様性が本来豊かでありながら、開発や伐採などにより貴重な野生生物の絶滅が危惧されている地域で、森林の保全と地域住民の生活の自立・安定とが両立する持続的な枠組みを作ることが活動の目的となっています。各プロジェクトでは、専門知識・ノウハウ・現地とのコミュニケーションを持つNGOと連携して、現地での活動の計画・管理・実施を推進しています。



自然に調和したカカオの栽培法で村人の収入が増え、森林伐採は減少(ガーナ)  
©株式会社リコー



森林を次代へ引き継ぐための環境教育に力を入れている(ブラジル)  
©株式会社リコー



## パートナーシップの効果

### 企業にとって

- ① 専門的知見・ノウハウが得られる
- ② 企業にはできない活動を担ってもらえる

### NGO/NPOにとって

- ① 安定的な資金の確保
- ② 情報発信、PR効果の向上
- ③ 企業市民教育
- ④ 企業の調達方針・経営への影響